



御蔵島村 議会だより

49号



8月 稲根神社例大祭

～ 掲載記事 ～

- P.2 議長の卓論
- P.3 平成30年第2回定例会 議決事項
- P.4 議員 一般質問内容
- P.8 議員活動報告

議長卓論

平成30年8月14日

御蔵島村議会議長 栗本 道雄

7月28日12号、8月8日13号と2つの台風に見舞われましたが、夏のお祭りは無事に行うことが出来ました。村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

平成30年第2回御蔵島村議会定例会も6月12日に開催され、提出された議案等が審議され終了致しました。

6月28日頃より7月8日頃に台風7号と梅雨前線の影響を受け日本各地に大雨が降りました。特に西日本では甚大な被害が発生してしまいました。

この場をお借りして、「西日本豪雨災害」で亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。また、被災された方たちにお見舞い申し上げます。猛暑の中、懸命に復興にあたられている方々に敬意を表します。

「かつてなかった」「想定外の」「数10年に一度の」「ここ数10年で経験したことのない重大事態」「観測史上例のない」といった言葉で表される予報や報道のように、今までの経験や常識が通じない「災害」が頻繁に発生する可能性が多くなっています。というよりもすでに多く発生しています。地球温暖化等が危惧され、それに伴う異常気象が言われて久しいですが、今後はこれが普通になってしまう恐れもあります。

東京都等も災害に備えて様々な備えや対策を講じていますが、御蔵島村でも災害に対しては関係機関が常時非常時にかかわらず努力して、住民一人ひとりにおいてもできる限りの対策をなされることをお願いします。

さて、御蔵島には今、何があって何がないのか？ 住民は何を望んでいるのか？ こういった基本となる事柄を考えるにあたり行政はもとより私達議会も今まで以上に住民の声を聴いて行かなければなりません。継続されている事業や方策を直ちに直視することは難しいことですが、10年後の、50年後の、100年後の御蔵島のあるべき姿を皆さんも考えてみてください。

今、御蔵島に住んでいる人達が将来の御蔵島の姿を決めることが出来る唯一の人です。

前回の議会便りの最後に書かせていただきましたが、「子供は島の宝」と言われますが、子供を含む「住民こそが島の宝です」。

みなさんの意見を議会や議員にお寄せ下さい。

平成30年第2回定例会 議決事項

平成30年第2回定例村議会が6月12日（火）に開会され、平成30年度補正予算1件、条例2件を議決、承認し、報告を1件受領しました。

議決、承認された議案は、次のとおりです

議決予算

〔補正予算〕平成30年度

（単位：千円）

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（1回）	1,148,475	4,769	1,153,244

議決条例

承認 第 1 号	専決処分について（御蔵島村税条例の一部を改正する条例）	平成30年6月12日	原案可決
承認 第 2 号	専決処分について（御蔵島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	平成30年6月12日	原案可決

報告案件

報告 第 1 号	事故繰越し繰越計算書（一般会計）について	平成30年6月12日	
----------	----------------------	------------	--

第2回定例会 一般質問内容

◆広瀬 鹿雄 議員

◎廃船処理について

【質問】 廃船処理について、前回の答弁で5月末までに執行するとのことであったが、実施実績とその金額はいくらになったか？また、未実施の船舶の有無と今後の方針について伺いたい。

【回答】 総務民生係長：現在までに19隻の処理が完了しており、補助金の額は59万円を見込んでいる。残り1隻の船が未処理のまま残っているのは確認済み。慎重に対応をしていく。

【質問】 放置車両が見受けられるが、条例改正を含め今後の対応をどのように考えているか？

【回答】 村長：車両の所有者と放置してある土地の所有者を確認し、廃車処理について所有者に通知を出し対応するように指導している。その後については、条例に基づき村が適切に処理しなければならない。

◎予算の執行方法について

【質問】 予算の執行方法について、村と議会の一部とで認識の違いがある。①繰越明許制度について、②農協、漁協に対しての補助金の具体的な交付方法について。この2点に対して説明願いたい。

【回答】 総務課長：「繰越明許」とは単年度で事業を完了する予定で予算を計上したところ、対象年度で完了できないことが予想される場合において、また「事故繰越」については予算計上していたところ、予想していない避けがたい事故等により年度内の経費使用が終わらない場合において、会計年度独立の原則の例外として予算を繰越し翌年度に支出を認めるものです。「繰越明許」に関しては議会の議決が必要であり、「事故繰越」は議会の議決は不要で報告のみ行うこととなっている。

補助金の交付については本来特定の事業、研究等の育成を助長するために、村が公益上必要があると認められた場合に対価なくして支払うものである。これについては御蔵島村公益団体等補助金交付要綱等に沿って交付している。

◎青ヶ島村の新聞報道について

【質問】 新聞において、青ヶ島村では契約業務を一人で担っており、年間44件の不適切な契約がなされていると報道された。村の現状の確認と、御蔵島村でこのような報道がなされないようお願いしたい。

【回答】 村長：この件については他人事ではない。契約を結ぶことにおいても、規則に定められた部分で常に動くよう我々はやってきている。したがって、私や職員が不正に何かをやるというようなことは起こっていないと考えている。島の規模などが同等であることから、御蔵島村でも同様なことが起こっているのではないかという疑念を抱かれる部分についても、不正があるとは一切思っていない。

村の姿勢のあり方、事業なり出納なり何にしても誰がみてもわかるような明確な進め方を今までしてきたので、今後もそのようなことがないように変わらずにやっていく。

◎ふるさと納税の返礼品について

- 【質問】 返礼品を実施しない御蔵島村には寄付は少ないと思われ、村民の多くがこの制度を利用すると、税収は大きく減少します。返礼品に村の物産やサービスを選定することにより、産業振興の一助となることも明らかです。本議員は御蔵島村に「ふるさと納税」の返礼品の実施を求めますが、村として実施するつもりがあるか伺いたい。
- 【回答】 総務課長：産業振興の一助となるのであれば、大いに意義があると考えます。一方でふるさと納税本来の趣旨を鑑みた場合、寄付をいただいた方のご意向に沿うような形で生かさなければなりません。住民と共に御蔵島を応援していただけるようなふるさと納税という趣旨になるよう返礼品の導入も含めて検討する必要があります。
- 【意見】 産業センターのものを利用するなど、実施に向けた検討をお願いしたい。

◎保育料の無償化について

- 【質問】 現在一律で4,700円を保育料として徴収しているが、子育て支援政策の一環として保育料の無償化をお願いしたい。神津島ではすでに実施しており、国でも近い将来実施すると聞いている。本村では、子育て支援として、出産祝い金や中学生までの医療費の無償化、高校生への就学支援などの施策を実施しているが、併せて本無償化を検討いただきたい。
- 【回答】 総務課長：政府では幼児教育、保育の無償化について一部平成31年4月実施、10月の完全実施という方針を打ち出している。だが、現段階では無償化に伴う財源等詳細な情報を持ち得ていない。そのため無償化への検討には至っていないのが現状である。
- 不透明な状況ではあるが、情報収集や国等の動向も踏まえて速やかに対応できるよう進めていく考えである。

◎へんご焼酎について

- 【質問】 村はへんごによる焼酎を造ろうとしているが、全体計画や大まかな予算が示されないまま事業が進捗することに対し危機感を持っており、現時点では反対の立場である。
- 平成24年に「へんごっこ」をつくった際の原価試算と職員からの説明のみしか情報がなく、それらを見る限りでは実現は難しいと思われる。原材料の確保や製造方法、職人や作業員の確保など全体計画や予算を提示いただきたい。
- 【回答】 産業課長：へんご焼酎については、特区の部分で作っていかなければならないということはあるが、焼酎製造計画の策定のために原材料や製造方法、作業員を含めた施設設備や必要機材、商品販売までの全体計画が実際にある。焼酎製造計画の作成には東京都にも協力いただき、今年9月から焼酎製造を行う鹿児島県の三島村からも製造系の資料提供をいただけるとのこと。これらを参考にしながら、原材料から製造、商品開発までのおおまかな試算も含めて、全体の計画をお示しできたらと考えている。
- 【意見】 現時点では実現が難しいと思われるが、村の財政負担があるようであれば今からでも撤退する勇気を持つことも必要。焼酎特区、ということで強硬に計画を進めて将来に禍根を残さぬよう、慎重に事業を進めていただきたい。

◎オオミズナギドリについて

【質問】 本島はオオミズナギドリの世界最大の繁殖地とされてきたが、近年驚異的な繁殖数の激減が報告されている。村は原因の一つとされる野ネコ対策など力を入れているが、さらに抜本的な対策が必要と考える。現状を踏まえ村の方針を伺いたい。

【回答】 村長：

今までずっと巨樹の問題、これは平岡忠夫さんが日本全国の巨樹を調査し、守っていかなくてはならないものがあると協力いただいている。巨樹がいまどのような状態であるかを把握して大切にしなければいけないという認識を持っている。

一方でオオミズナギドリの問題に関しては、山階鳥類研究所の岡先生が御蔵に入ってきて調査している。今問題になっているネコの問題については、今後の将来について岡先生に話を伺って、今すぐ解決出来ることはネコを少なくしなければいけないこと。減らす努力はしているが、進む方向がこのままで良いのかどうか少し疑問を持っている部分もある。

結論としては、このままの状況に対しての危機感を持つことと同時に、オオミズナギドリについては認識を変える必要がある、ということも検討せざるを得ない。この辺りを村も踏み込んでいかなければならない。だからといって、今までのやり方を急に変えてネコを撲滅するような形が本当に良いかどうか、という結論を出すには早い。

新潟県の粟島村も御蔵島と同様にネコの里親制度を利用している。出す頻度、捕まえる頻度、こういったものがどれくらい住民に危機感を持って認識され浸透しているかの問題を抱えている

。ネコを島から出すスピードや内地に送る数の問題など、もう少し住民に具体的な形で出す必要があると考えている。

もう一方で、いま食用にしているオオミズナギドリを食べないでこれを守りますよということで、今後駆除制度を変えることまで考えることになるのではないかとも思っている。

この問題はもう一度原点に戻って、考える必要がある。今の段階ではネコの数減らす必要があるのは間違いない。本来なら年間を通じてやるべきことではあるが、人数の問題や捕獲時期を11月から3月の期間に徹底してやるなどということも含めて、今後どのようにやるのかを検討する必要がある。

【意見】 すぐに一部の情報だけで判断したり動いたりというのは難しいと思うが、生態系を守るためにオオミズナギドリの実態はどうなのか、今後どうしたらいいのかを前向きに考えて進展するようお願いしたい。

◎特定有人国境離島地域社会維持推進交付金について

【質問】 内閣府総合海洋政策推進事務局有人国境離島法政策推進室が行う事業で雇用機会の拡充という項目がある。この法律やほかの法律により、運賃の低廉化と物資の費用負担軽減措置が実施されている。先に述べた交付金を対象とした事業を当村でも今後実施予定があるのかを伺いたい。

【回答】 企画財政係長：

有人国境離島地域社会維持推進交付金についてはいくつかメニューがあり、今後そのメニューを広報等で周知し、問い合わせがあったものには窓口として調整していきたい。

【意見】 運賃の低廉化、物資の費用負担の軽減、雇用機会の拡充、滞在型観光の促進と4つある中で最初の2つは実施済みという認識である。残り2つは今後検討するということだが、周辺の町村では既に実施されていたり、説明会を開いたりしている。この事業に実際取り組んでいないのは御蔵島だけだという話も聞いている。村内の個人事業者が有効に活用できる法律だと思っているので、限られた予算内ではあると思うが積極的に取り組んでほしい。

◎奥山交竹院没後300年について

【質問】 3月の定例会でも質問したが、教育長が交代したので改めて質問したい。奥山交竹院没後300年を迎えるということを質問したが、来年度に向けて今年度中に考え、31年度の当初予算にあげる必要があるのではないか？

【回答】 教育長：

そのような話があることは聞いている。村民の皆さんいろいろな考えがあると思うので、有志の会や実行委員会などが出来て計画が上がってきた段階で、村あるいは教育委員会で内容を検討し、適切だと思われた場合には後援し協力していきたい。

【質問】 やらない訳ではないが、民間からの動きを待つ。動きがなければ村として前面に出てやる予定はない、という認識でよろしいか？

【回答】 教育長：

村民にとって大切に思うことはいろいろあると思うので、計画を立て名乗りをあげていただければ、こちらは応援していくという立場でいます。

村長：

こういう問題は村が何でもやれば良いというのではなく、組織を立ち上げたうえで提案する形になるのが、一番望ましいと思う。村内の年間行事の中で、何かと一緒に合わせてこういう名目でやりましょうということも考えられる。もちろんあれもこれも出来るだろうではなく、その行事同士がなじむかということも検討する必要がある。

【意見】 やらないという判断はなさそうだが、民間からの動きを待つのではなく、村からも住民に対して情報を発信し、手をさしのべるぐらいの気持ちでやってほしい。

村 議 会 議 員 の 活 動 報 告

活動報告 平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日

議長 栗本道雄

4 月 3 日 御蔵島小中学校職員辞令伝達式
4 月 9 日 御蔵島小中学校入学式
4 月 11～12 日 伊豆大島視察(非公務)
4 月 13 日 東京諸島議員研究会・三宅会役員会(非公務)
4 月 26～27 日 東京都港湾局技監他来島
5 月 23 日 東京都町村議会議長会・東京都島嶼町村議会議長会臨時総会
東京諸島議員研究会・三宅会総会(非公務)
東京都町村議会議員研修会・及び意見交換会
5 月 24 日 自由民主党東京都支部連合会訪問(非公務)
5 月 25 日 東京都町村議会議長会東京港視察
5 月 26～27 日 島じまん 2018
5 月 28 日 全国町村議会議長・副議長研修会
6 月 2 日 御蔵島小中学校運動会(欠席)
6 月 7 日 御蔵島村議会全員協議会(全議員)
東京都三宅支庁平成 30 年事業説明会
6 月 12 日 御蔵島村議会平成 30 年第 2 回定例会(全議員)
6 月 26 日 北方領土の返還を求める都民会議(欠席)
6 月 27～7 月 4 日 小笠原返還 50 周年
6 月 29 日 東京都町村議会議長会父島視察
6 月 30 日 小笠原諸島返還 50 周年記念パレード・式典(父島)

紙面の都合上、議会だよりは文章や内容を割愛したり、要約したりして掲載しています。

ぜひ議会を傍聴してみてください

御蔵島村議会に関するお問い合わせ
御蔵島村役場 総務課総務係 議会事務局
〒100-1301 東京都御蔵島村字入かねが沢
TEL：04994-8-2121
FAX：04994-8-2239

